

広島大学大学院医系科学研究科 地域保健看護開発学研究室



武漢大学との学術交流 11-17 Dec. 2023

2023年12月に、中国の「985プロジェクト」と「211プロジェクト」「双一流」構築大学である武漢大学の看護学院から教員1人と大学院生7人を招へいし、本研究室が「地域住民を対象とした在宅ケアと災害看護における日中交流」のプログラムを開催しました（2023年度JSTさくらサイエンスプロジェクト採択事業）。

広島大学教員による講義や関連施設の視察を通し、知識や技術に触れていただくと研修を行いました。中国の大学院生にとって貴重な体験となり、日本への関心が深まり、今後の留学や再来日、就職などにつながることを目指すプログラムとなりました。



Schedule

12月11日 PM: 広島空港到着

12月12日 AM: Welcome ceremony

オリエンテーション

広島大学教育施設の見学

PM: I. 日本の在宅ケア/制度・体制

12月13日 AM: I. 日本の在宅ケア/専門職のケア
(訪問看護師と理学療法士)

PM: I. 日本の在宅ケア/施設見学

A. コモンデイサービスセンター

B. 訪問看護ステーショングリーンピース

12月14日 AM: II. 日中の看護・医療人の養成と教育制度

III. 災害看護と支援および自然災害と感染症

PM: III. 災害看護体験学習

広島市豪雨災害伝承館の視察

12月15日 AM: IV. 世界遺産スタディーツアー①異文化と日本の歴史体験
(厳島神社)

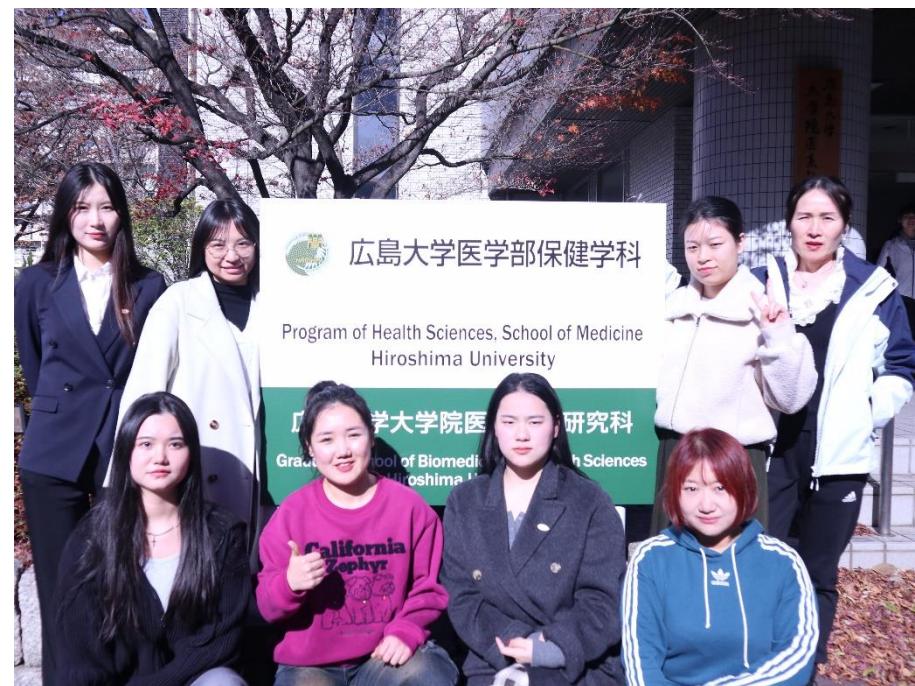
PM: IV. 世界遺産スタディーツアー②平和への歩み
(原爆ドーム・平和記念資料館)

12月16日 AM: V. 研修の総括と質疑・意見交換

交流計画に基づく研究発表の交流と意見交換会

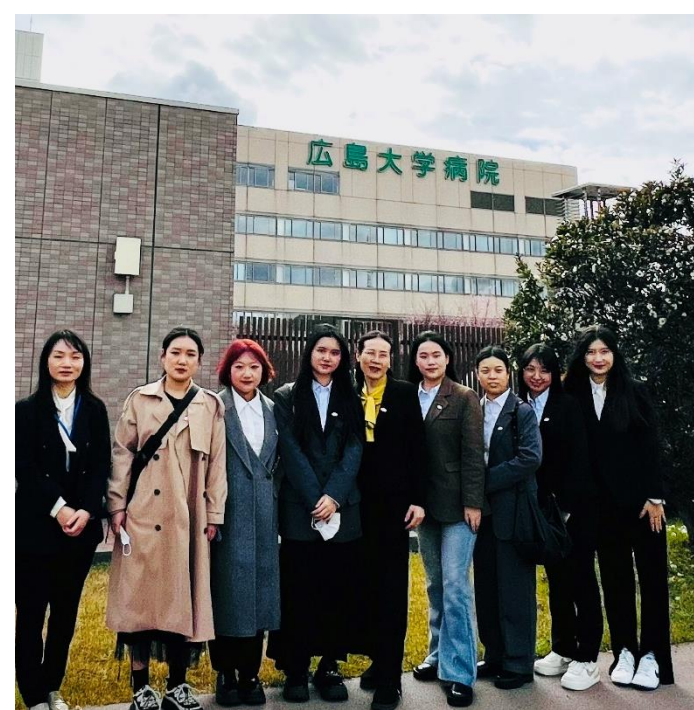
PM: 出国準備

12月17日 AM: 出国

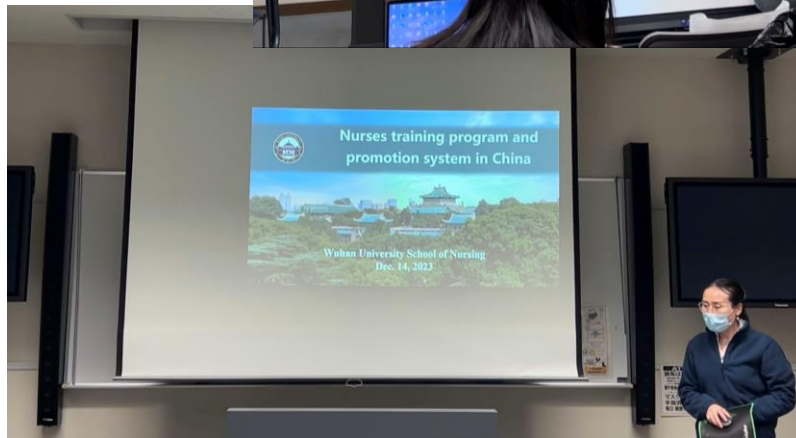
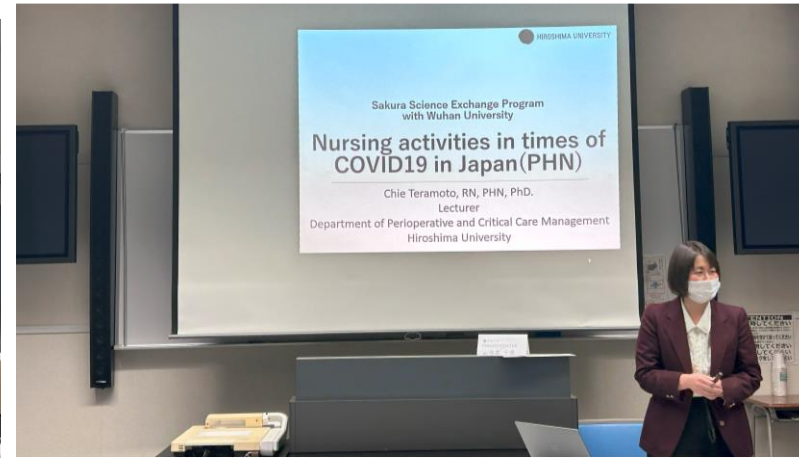
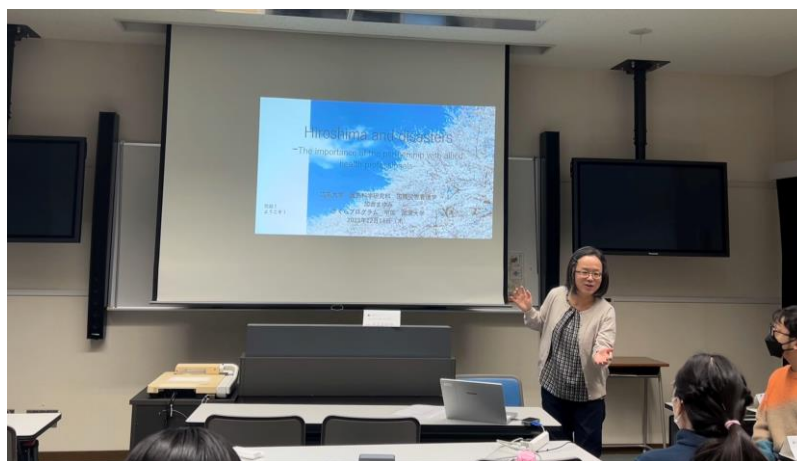




プログラム初日は、歓迎セレモニーの後、保健学科棟実習室と広島大学病院を見学しました。地域看護実習室では日本文化特有の和室や在宅介護用のトイレや浴室を紹介し、大学病院の視察を通して日本の医療ビジョンや看護の雰囲気を感じてもらいました。



在宅ケアと災害看護の講義





株式会社Commonは児童（放課後デイ）から高齢者までが利用できる共生型福祉施設です。職員が元気よく利用者たちと新聞紙をぐるぐる巻くゲームをやっています。指の関節を動かせる効果があるそうです。

広島市豪雨災害伝承館は2014年8月20日豪雨により犠牲になられた方々への哀悼と鎮魂の場となるシンボリックな拠点施設として開設されました。展示スペースで私たちは土石流のCG映像を含めたガイダンス映像および被災者の語りから自然災害に対する知見を深めました。災害体験プログラムから防災・減災の正しい知識や技術を学習しました。





日本の歴史と文化を体験してもらうため、原爆ドーム・平和公園資料館および世界遺産の厳島神社のスタディーツアーも実施しました。



研修最終日には本プログラムを通して勉強できたこと、今後の学習目標などを発表してもらい、実施担当者である中谷教授が学生のみなさんへプログラム修了証書を授与しました。サプライズ表彰もあって和やかな意見交換会となりました。



申請を採択していただきました国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）へお礼申し上げます。